

令和元年（2019年）8月16日

報道関係者各位

MyProdigy Asia Pacific

Founder&CEO Jaziri Alkaf A. Suffian

公益社団法人マナーキッズ®プロジェクト  
理事長 田中日出男

### マナーキッズ活動のマレーシア展開に関する覚書調印式記者発表文

MyProdigy Asia Pacific と公益社団法人マナーキッズプロジェクトは、令和元年（2019年）8月9日、大阪市のホテル日航大阪会議室において、マナーキッズ活動のマレーシア展開に関する覚書調印式を行いました。マレーシア政府青少年スポーツ大臣の Syed Saddiq bin Syed Abdul Rahman 氏にご同席頂きました。

MyProdigy Asia Pacific は、マレーシアにある子供・若者を対象にした人材教育会社で、ニュージーランド、インドネシアにおいても活動しております。

公益社団法人マナーキッズ®プロジェクトは、幼稚園・保育園、小学校児童に対し、スポーツや文化活動を通じ、日本の伝統的な礼法を体験し、＜体・徳・知＞バランスのよい子供を育てる活動を行っております。既に日本の47都道府県及び台湾、マレーシアの日本人学校において、50万人を超える幼稚園・保育園児、小学校児童が参加しております。

今般の両者の覚書締結により、マナーキッズ活動をマレーシアにおいて展開し、成功例を作り、更に ASEAN 各国に展開することを期待します。

覚書の要旨は下記の通りです。

#### 記

##### 1 背景

- ・子供、若者のためのマナーキッズプログラムをマレーシアにて採用し、必要であればマレーシア流に合わせ、順応させていく。事実上これを ASEAN においても適用する。

##### 2 協働活動

- ・次の3つの戦略的分野を巡る新たなイノベティブな発案や協働プロジェクトの開発につき相互に協力する。
  - ①子供・若年層の能力開発
  - ②社会的な向上のためのプログラム
  - ③教育、トレーニング、職業指導分野に関するアイデア開発と両当事者間でのプログラムの交換、および各種の政府組織と非政府組織への提案に関連した子供・若者層の成長に資する新たなイノベーションの共同開発

以上

ます。人間としての基本的なマナーやルール順守意識に欠ける。私的空间と公的空间のけじめ感覚を持ち合わせない。弱いものをいじめるなどの卑怯なる振る舞いが常態化している。傷つくのが怖いから他人と深く交わろうとしない。学びを含めて何事にも意欲がわからない。その上、体力や運動能力の面でもひ弱になった等です。このままではいけないという問題意識のもと、別紙のようにマナーキッズ活動を展開しております。今までに、47都道府県及び台湾、マレーシアにおいて、約50万人の幼稚園園児・小学校児童が参加しました。東京オリンピック・パラリンピックに向けて、参加者を飛躍的に増大させたいと考えておりますが、そのハードルは非常に高く大きな壁が立ちはだかっております。平成29年度、横浜市教育委員会西部学校事務所が、管内20小学校において、マナーキッズ体幹遊び教室を実施することになり、横浜市全域及び全国への波及を期待しておりました。しかし、小学校道徳教科に関連し、マナーキッズプロジェクトが実施している美しい姿勢、挨拶と同じやり方のイラストを掲載している教育出版社裁判に反対する団体が、矛先をマナーキッズプロジェクトに向け、美しい姿勢、体幹を外部指導することに対し教育委員会宛に抗議活動を行い、教育委員会がそれに屈するという事態が発生しました。壁突破の方策として、海外から成功事例に関する情報が還流してくることも日本での意識覚醒に効果があるのではないかと思っております。いま、幸いな事にマレーシア政府に多大の関心を示して頂いており、マレーシアで急速に成果が挙がり、しかもそれが日本発の活動という事実が知られるようになれば、日本での広がりに弾みがつくものと期待されます。

50万人を越える幼稚園・保育園園児、小学校児童が受講しましたが、限定的です。日本全国の幼稚園・保育園園児、小学校児童が参加することにより、マハティール首相の言われる「お手本と模範」にふさわしい日本人の伝統的な美德の再構築を目指します。

以上



写真中央 マレーシア政府青少年スポーツ大臣の Syed Saddiq bin Syed Abdul Rahman 氏

注：

1. 日本マレーシア俱楽部はマレーシアとの友好関係を深めるために草の根の活動をしている民間の任意団体
2. Datuk（ダトー）はマレーシア国王から授与される爵位で男爵に相当

# 令和の幕開けにあたりマナーキッズ®プロジェクトが目指すこと

幼少期から(マナーキッズ®体幹遊びは0歳児から)、スポーツ、日本の伝統文化に親しみながら、「日本の伝統的な美しい姿勢・挨拶」「腰骨を立てる」「マナーキッズ®体幹遊び」及び「マナーキッズ®」調べの四つを体験することにより、日本の伝統的な姿勢・挨拶を次世代に継承しよう!

## 日本の伝統的な美しい姿勢・挨拶(小笠原流礼法鈴木万亜子総師範指導)

### 「美しい姿勢・立ち方」を身につけよう



### 「美しいお辞儀・挨拶の仕方」を身につけよう



## 腰骨を立てる(森信三(教育哲学者)選集 第3巻 一般社団法人「実践人の家」発刊 他から引用)

「腰骨を立てる」「立腰」というのは、着席時(椅子、正座)、歩行時、起立時の三態の「正しい姿勢」、「よい姿勢」とはどういう姿勢かのポイントを具体的に言い表した言葉です。腰骨というものは、私たち人間の身体の大黒柱であり、バイタリティーの根源なのです。しかも体の中で一番動かないところはどこかといえば、結局胴体であり、そのまた中心はどこかといえば腰骨なのです。「腰骨を立てる」つまり後方と前方という正反対の方向が、腰骨の一点でキリッと結ぶ。この一点のネジを、全身の力をもってぐっとしめあげる気持ち(全身の神経回路をつなぐ)なのです。そしてこの状態をできるだけ持続しつづけることでやる気を育てます。



- 両足を床につける
- お尻をうんと後ろに突き出す
- 腰骨をぐっと前に引き出す
- あごを引き、肩の力を抜く
- 頭上を引っ張られる気持ちで

- 躰(しつけ)の三原則
- 朝のあいさつをする子に
  - 「ハイ」とはっきり返事のできる子に
  - 席を立ったら必ずイスを入れ、ハキモノを脱いだら必ずそろえる子に

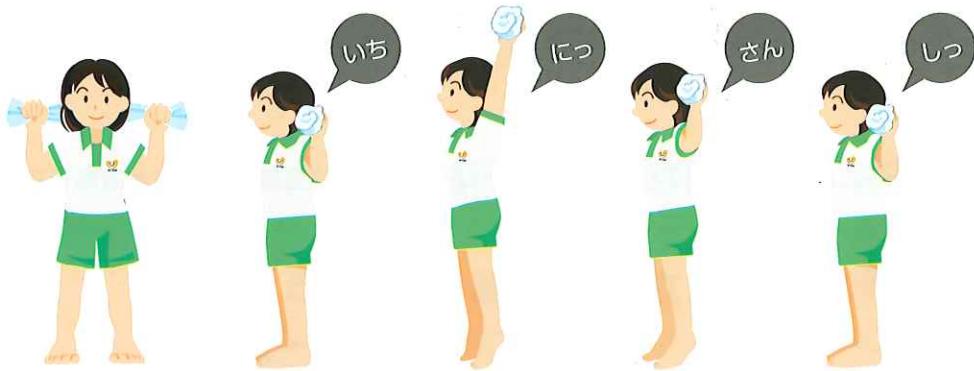
## 体幹を鍛えて、美しい姿勢を身につけよう

「体幹」とは、頭部と両足・両腕を除いた胴体と呼ばれる部分を指します。

「体幹」を鍛えることにより体を支えることができ、美しい姿勢を保ち続けることができます。

### <「体幹遊び」事例>

- ・頭の後ろでタオルを伸ばし、全身で上へ投げる、おなかは、つねにへこませたまま。10回、声を出す。
- ・タオルを肩の高さ引っ張って持つ。
- ・タオルを頭の後ろ側で上にあげる。つま先立ちで伸びる。
- ・元の位置に戻す。



## 「マナーキッズ®」調べ(明石要一千葉敬愛短期大学学長 提言)

### 「マナーキッズ®」調べに挑戦しよう—

### 再度、世界の人々から尊敬される日本人を目指して—

言葉編10項目、美しいお辞儀・挨拶編10項目、歩き方・姿勢編10項目、生活編10項目、社会規範編10項目の合計50項目あります。

言葉編（事例）	美しいお辞儀・挨拶編（事例）	歩き方・姿勢編（事例）	
<b>呼ばれたら 「はいっ。」と 言っています</b> 	<b>いすの背に もたれて すわっていません</b> 	<b>きをつけの時は おへその下に力を 入れています</b> 	
<b>生活編（事例）</b>  <b>夜は 10時前に寝て、 朝は 早く起きています</b> 	<b>動物や花を 大切にしています。 (いたずらをしていません。)</b> 	<b>何点とれるかな? 70点以上が合格です。</b> 	
<b>毎年10月に、70点以上の児童を集めた「マナーキッズ®」調べ表彰者発表会があります。 マナーキッズ®大使に選ばれて、茶道、華道、折紙等の日本の伝統文化を学び、海外に行こう!</b>			

### 期待される効果

- 美しいお辞儀・挨拶ができるようになる
- 声が大きくなる
- 腰骨が立てることができ、姿勢がよくなることにより、次のような効果が期待されます

**「学力が向上する」  
「スポーツが上達する」  
基盤作りになります**

### 効果A 精神が明確になる

- 頭がはっきりして、何事にも専念できるようになる
- 判断力がつき、実践的力が身についてくる
- 心が引きしまり、やる気がわいてくる

### 効果C 健康になる

- 立腰による美しい姿勢によって内臓の圧迫がなくなる
- 食欲不振がなくなり、身体が丈夫になる
- 動作が俊敏になり、気分が明るくなる

### 効果B 主体性が確立する

- 集中力がつき、持続ができるようになる
- 進んで何事にも取組み、積極的になる
- ねばり強く耐える力がつき、実践力が身についてくる

### 効果D 社交性が身につく

- 遊びが増える
- 友達が増える
- 世界の人々と日本人としての「自信と誇り」をもって交流できる